

2018年11月21日 市民タイムス「科学の甲子園・全国大会へ」

(第3種郵便物認可)

THE END

松本秀峰 科学の甲子園へ 県内9校・22チームを代表

高校生が科学の知識や技能を学校対抗で競う来春の「科学の甲子園・全国大会」に向けて、出場する県代表を決める「第8回信州サイエンステクノロジーコンテスト」がこのほど、松本市旭3の信州大学松本キャンパスで開かれた。9校から22チーム・計132人が出場し、松本秀峰中等教育学校のAチームが総合優勝を決めて全国大会への切符を勝ち取った。



取り組んだ。

開会式でコンテストについて説明を受ける生徒たち

各チーム6人で構成し、筆記競技と実技競技にチームプレーで挑んだ。筆記競技は物理・化学・生物・地学の理科4科目と数学、情報があり、各科目から

2問ずつ計12問が出題された。実技競技は事前に課題が公表されていた総合分野と当日発

表の物理分野があり、生徒たちは3人ずつに分かれて課題解決のための装置制作や実験に

全国大会は来年3月
15～18日にさいたま市
で開かれる。

(北條彩乃)